

## 心不全患者においてもカフェインで不整脈リスクは高まらない可能性

カフェインによる前不整脈作用については意見が分かれている。本研究では、心室性不整脈のリスクが高い心不全患者におけるカフェイン高摂取の影響について検討した。心不全患者 51 人（男性 37 人、平均年齢 60.6 歳）を無作為に 2 群に割り付け、1 群にはカフェインパウダー100mg を入れたカフェイン抜きのコffee、もう 1 群にはミルクパウダーを入れたカフェイン抜きのコffeeを飲ませた。患者は 5 時間の間、1 時間ごとにコffeeを飲んだ。カフェイン群は合計 500mg のカフェインを摂取した。最後の 1 杯を飲んだ 1 時間後にトレッドミルで負荷試験を行ったところ、カフェインの心拍に対する影響は認められなかった（心室性期外収縮：カフェイン群 185 拍 対 プラセボ群 239 拍、 $P=0.47$ ；上室性期外収縮：カフェイン群 6 拍 対 プラセボ群 6 拍、 $P=0.44$ ）。

したがって、コffeeを飲んでも心不全患者の不整脈リスクは高まらない可能性が示唆された。ただし、今回の研究は小規模であり、被験者の半数がコffeeを常飲していたためにカフェインの影響を受けにくくなっていた恐れもある。

出典：Journal of American Medical Association. Internal Medicine. Published online Oct 17, 2016; doi: 10.1001/jamainternmed.2016.6374